



# 第20回 河川生態学術研究発表会

平成29年11月20日(月)10:30 ~ 17:00

会場：浜離宮朝日ホール 小ホール  
(東京都中央区築地5-3-2 朝日新聞東京本社・新館2階)

CPD認定  
5.3単位

参加  
無料

<定員200名>

河川生態学術研究会では、生態学と河川工学の研究者が共同で川のあるべき姿を探ることを目的として、生態学的な観点より河川を理解するための研究活動を実施し、河川の本質の理解を深め、新しい河川管理に資する総合的な研究を進めています。

現在4つの河川別の研究グループ(斐伊川、菊池川、千曲川、木曽川)及び河川総合研究グループが活動しています。

この度、応用生態工学会との共催により、これらの研究グループによる研究成果等を一同に会して発表し、幅広い意見交換と情報共有の場として研究発表会を開催いたします。

この研究発表会が研究者、現場技術者、コンサルタント、NPOの方々など、様々な活動内容と立場の皆様の参加を得て、更なる研究の充実、質の向上を図る場となりますよう、多数のご参加をお待ちしております。



「築地市場駅」都営大江戸線(A2出口)すぐ  
「築地駅」東京メトロ日比谷線  
(1、2番出口)より徒歩約8分



(敬称略)

## プログラム (ポスター題目は裏面をご覧ください)

10:30	開会挨拶	河川生態学術研究会、国土交通省 水管理・国土保全局
10:35	研究グループの概要説明	斐伊川研究グループ(代表山室真澄)、千曲川研究グループ(代表平林公男) 木曽川研究グループ(代表森誠一)
11:15	ポスターセッション《グループトピックス》	
12:15~13:15	昼食	
13:15	ポスターセッション《集中ポスターセッション》	
14:40	全体討議	
15:10~15:25	休憩	
15:25	話題セッション：河川景観における湧水・地下水への生態学的研究の展望 コーディネーター：根岸 淳二郎 パネリスト(予定)：東城 幸治, 笠原 玉青, 鷲見 哲也, 宇野 裕美	
16:55	閉会挨拶	応用生態工学会

主催 河川生態学術研究会

共催 応用生態工学会

お問い合わせ 河川生態学術研究会事務局(公益財団法人リバーフロント研究所内) 担当：渡邊  
電話：03-6228-3864(直通)、メール：rfc-event2017@rfc.or.jp

# ポスターセッション

(敬称略)

## 11:05～ ポスターセッション《グループトピックス》

### 斐伊川研究グループ / 代表 山室 真澄

- ・斐伊川グループ成果概要 山室真澄
- ・沈水植物の生理特性把握による大繁茂の原因解明 夏 利萍
- ・ヤマトシジミの貝殻を使った硫化水素発生抑制剤の開発 菅原庄吾

### 千曲川研究グループ / 代表 平林 公男

- ・河川中流域における生物生産性の機構解明と河川管理への応用ー2017年度の成果より 平林公男
- ・千曲川中流域における流下有機物量とその起源の変動 戸田任重
- ・安定同位体分析を用いた千曲川中流域における魚類群集のエサ資源利用様式の解明 中野 繭
- ・千曲川中流域で繁殖するカワセミの食物は外来魚の出現によって変わったか？ 笠原里恵
- ・千曲川中流域の淵を対象とした流況・地形観測と物質輸送シミュレーション 山本遼哉
- ～常田地区と岩野地区の比較～
- ・千曲川流域における水生昆虫類の遺伝構造から探る移動分散の方向性と強度 竹中將起

### 木曾川研究グループ / 代表 森 誠一

- ・木曾川流域における河川生態系の研究：整理と展望 森 誠一
- ・木曾三川・氾濫原環境の保全に向けた研究方針 永山滋也
- ・扇状地端部を流れる湧水河川の水環境 田代 喬
- ・津屋川におけるハリヨ等魚類の移動検証に向けたストロンチウム同位体比分布調査 陀安一郎
- ・木曾川のワンド・たまりにおける魚類相とタナゴ亜科魚類イタセンパラの生態 北村淳一

## 13:15～ ポスターセッション《集中ポスターセッション》

### 菊池川研究グループ / 代表 島谷 幸宏

- ・菊池川研究の概要 島谷幸宏
- ・溪流の地質風景：地形と堆積物と水の変化 池見洋明
- ・流域地質と山地溪流の河道形態 佐藤辰郎
- ・流域地質と溪流-扇状地部の水環境：基底流量と水温動態について 佐藤辰郎
- ・溪流地質と河川間隙水域：水の交換量と有機物分解 笠原玉青
- ・地質が生物に及ぼす影響：河床下を生息場とする微小間隙生物の群集構成 田中亜季
- ・溪流生物に対する地質の影響：底生動物、サワガニ、カワネズミを対象として 一柳英隆
- ・環境要因が河川性魚類に与える影響の評価 -菊池川水系扇状地部を対象に- 秋庭廣大
- ・菊池川流域の氾濫原性魚類：タナゴ類の生息の現状と新たな課題 鬼倉徳雄・梅村啓太郎
- ・菊池川における二枚貝の現状とその生息場保全再生の実践へ向けた取り組み 林 博徳
- ・氾濫源環境の保全：代替環境としての河道内一次的水域の機能評価と保全の考え方 皆川朋子
- ・菊池川における特定外来植物ブラジルチドグサ、ナガエツルノゲイトウの分布・拡大特性 皆川朋子
- ・菊池川における氾濫原保全と創出及び環境教育の取り組み 熊谷隆則

## 参加申し込み



[rfc-event2017@rfc.or.jp](mailto:rfc-event2017@rfc.or.jp)

●ご氏名 ●所属 ●懇親会 参加の有無  
を明記の上、お申込をお願いいたします。



下記の「参加申込書」にご記入の上、  
下記宛に送信ください。

03 (3523) 0640

参加者氏名	所属	懇親会 (いずれかに○)
		参加 ・ 不参加
		参加 ・ 不参加

参加者代表 電話番号：

メールアドレス：

※懇親会は17:15～18:45 築地浜離宮ビル2F レザンドゥ (会場の隣) 会費：3,000円を予定しています。  
当日の参加申し込みも可能ですが、事前準備や人数調整の関係から、事前申込みにご協力ください。